

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

4 4 1 土地の計画的な利用の促進

44101 土地の有効利用 (地域振興部)
44102 土地の基礎調査の推進 (地域振興部)

(主担当部局：地域振興部)

< 施策の目的 >

(対象) 県土が

(意図) 環境面で配慮され、かつ県民の安全性が確保されたうえで、質的に向上した利用が行われている。

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年 度	H 1 6 年 度	H 1 7 年 度	H 1 8 年 度
県土に占める自然的 土地利用面積の割合 (%)	目標値	7 9 . 6	7 9 . 6	7 9 . 5	7 9 . 5
	実績値	7 9 . 5	7 9 . 5		

県土に占める自然的土地利用（農用地、森林、原野、水面等）面積の割合。自然環境の保全度を表し、開発と保全の調和がとれた土地利用の状況を象徴的に示すものです。

< 平成 1 8 年度に残っている課題 >

三重県国土利用計画（第三次）の期限が 1 7 年度末であるため、新たな計画策定を行い、県土の適正な利用を図る必要があります。

三重県の地籍調査は全国と比較して進捗が大きく遅れているため、地籍調査の未着手や休止の市町に対して積極的に働きかけを行うなど、土地利用が円滑に行える基盤づくりに取り組む必要があります。

< 平成 1 8 年度の施策の取組方向 >

現在国が策定中の「国土形成計画」に基づき、平成 1 8 年に策定予定の国土利用に係る全国計画を受け、都市、森林、農業地域等の計画と連携を図りながら「三重県国土利用計画（第四次）」を策定していきます。

地籍調査の未着手や休止の市町に対し引き続き着手に向けた積極的な働きかけを行っていくとともに、説明会や講習会等の機会を通じ、事業の進捗に向け取り組みます。

また、地籍調査は、県や市町における公共事業や財産管理を円滑に進める上でも大事なことから、関連部局と連携を図り実施していきます。

なお、森林地域においても、簡易な手法により土地の概ねの境界を確定する地籍調査を実施していきます。

<主な事業>

国土利用計画費【基本事業名：44101 土地の有効利用】

当初予算額： 390千円 10,137千円

事業概要：平成8年度に策定した「三重県国土利用計画（第三次）」の適切な管理、運営を行うとともに、次期計画の策定を行います。

地籍調査補助金【基本事業名：44102 土地の基礎調査の推進】

当初予算額： 176,903千円 158,901千円

事業概要：県土の開発、保全、利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図ることとし、地籍調査を実施する市町に補助金を交付します。

（新）山村境界保全事業費【基本事業名：44102 土地の基礎調査の推進】

当初予算額： - 千円 36,000千円

事業概要：森林地域において、簡易な手法により土地の概ねの境界を確定する地籍調査を実施する市町に補助金を交付します。

国土調査事業費【基本事業名：44102 土地の基礎調査の推進】

当初予算額： 1,860千円 1,760千円

事業概要：未着手市町に対して説明会、研修会等を実施し、地籍調査について啓発を図るとともに、実施市町の支援等を行います。

地価調査費【基本事業名：44102 土地の基礎調査の推進】

当初予算額： 38,977千円 36,507千円

事業概要：一般の土地取引に指標を与え、適切かつ合理的な地価形成を図るため、県内各地基準地の土地価格について標準価格を判定し、公表します。